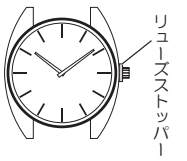
アナログソーラーウオッチ 取扱説明書・保証書

取説No. G-44f

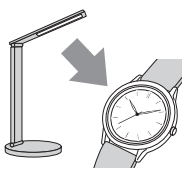
ご使用の前に

①リューズストッパーを外してからお使いください。



②充電池の容量が低下している可能性があるため、明るい光の当たる場所で充電してからお使いください。

※直接、太陽光には当てないでください。



本書は共通取扱説明書です。
全ての図は説明用で、実際の状態を表したものではありません。
デザインや数字の表示などが実際の製品とは異なりますので、あらかじめご了承願います。

この度は本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品を末永く御愛用頂ける様に、この取扱説明書をよく読んで正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この保証書はお手元に保管して必要に応じてご覧ください。本書はアナログウオッチ説明書です。お買い上げの時計の種類に該当する説明を探し、よく読んで、時報などを参考に時間を合わせてください。

- 製品や説明書の内容は改良などのため、予告なしに変わる事があります。
- この時計によって生じたいかなる支出・損益、その他の損失に対しては一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
- この取扱説明書は許可なく変更・複製しないでください。

保証書

製品型番
お買い上げ日
お客様氏名（ふりがな）
お客様住所
ご連絡先電話番号
販売店印

※保証期間はお買い上げ日より1年間です。

保証規定

保証書及び本保証規定に記載した内容によりこの時計を保証致します。

- **本保証書は日本国内においてのみ有効です**
- **保証期間中、正常なご使用状態において、万一故障が発生した場合は、本保証規定によりお買い上げの日より1年間無償で修理・調整させて頂きます。本保証書と現品をお買い上げ店にご呈示ください。**
- **保証期間中であっても、下記の場合には有償となりますのでご了承ください。**
  - ① 誤ったご使用またはお取扱い上の不注意による故障。
  - ② 火災・水害・地震、その他の天災地変による故障。
  - ③ 分解による故障・不具合
  - ④ ご使用中に生じた外装・外観上の変化 ※ケース・ガラス・リューズ・バンドのキズ、色落ちなど
  - ⑤ 保証書のご呈示がない場合、あるいは保証書にお買い上げ店名・捺印・お買い上げ年月日の記入が無いなど、記入事項に不備がある場合。
- **保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。**
- **修理の時、ケース・文字盤・針・ガラス・リューズ・バンドなど、パーツについては、一部代替部品を使用する場合がございますのでご了承ください。**
- **時計本体以外のパーツ（バンド・フックなど）は保証の対象外となりますのでご了承ください。**
- **最初に入っているモニター用電池、バンドの損耗、電池切れによる電池交換などは保証の対象外となります。お買上げ後、電池が切れた際には時計専門店・クレファーアフターサービスなどに電池交換（有償）をご依頼ください。**
- □ **ご記入頂いたお客様の情報は、保証期間内のアフターサービス、及びその後の品質向上の為に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。**
- □ **この保証書により保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。**

製品仕様

■精度	平均月差±20秒以内 ※機種により異なる場合は,タグ等に記載します。
■作動温度範囲	−5〜+50℃
■防水	文字盤・裏ぶた・パッケージなどに表記しています。
■使用充電池	リチウムボタン二次電池
■駆動時間	フル充電時 約4ヶ月

※最初に入っている電池は工場出荷時に時計の機能を点検し性能を検査する為のモニター用電池です。この電池は保証の対象外となります。
全ての仕様は改良等の為予告なく変更になる場合があります。

時刻の合わせ方

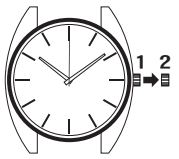
日付設定時のお願い

日付表示付きウォッチ（以下のBとC）については、以下をよくお読みください。

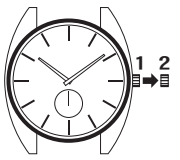
- **■ 午後9時〜午前3時くらいまでは日付を合わせないでください。**この時間帯で日付を合わせると、翌日になっても変わらない事がありますので、この時間外に針を動かしてから合わせてください。
- ■ 日付は24時間に一度変わるように設計されています。午前／午後を間違えない様に注意してください。

A 3針時計

①リューズを2の位置まで引き出します。（秒針が止まります）秒針は、12時の位置に止めます。

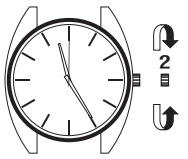


通常秒針

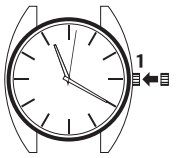


小秒針

②リューズを回して針を合わせます。まず、正しい時刻より4〜5分針を進め、つぎに針を戻して正しい時刻にします。



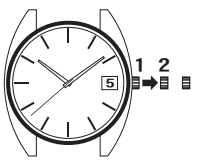
③時報と同時にリューズを押込み1の位置に戻します。



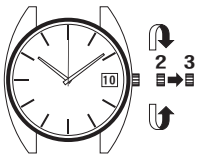
- **■ 本製品は「GMT機能」がありません。**

B 3針日付表示時計

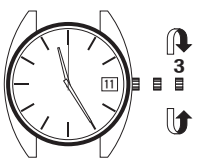
①リューズを2の位置まで引き出します。（秒針は動いています）この位置では日付が動きます。



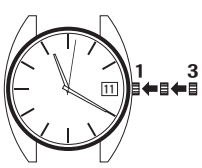
②リューズを回して正確な日の、前日の日付を表示させます。その後、リューズを3の位置まで引き出します。（秒針が止まります）秒針は12時の位置に止めます。



③リューズを回し日付が変わるまで針を進めます。午前の場合はそのままにします。なお、午後の場合は、時針が一度12時を超えるまで針を進めます。正しい時刻より4〜5分針を進めます。つぎに、針を戻して、正しい時刻にします。

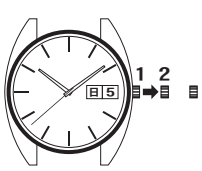


④時報と同時にリューズを押込み1の位置に戻します。

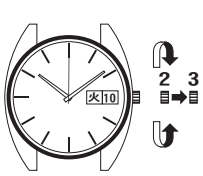


C 3針日付/曜日表示時計

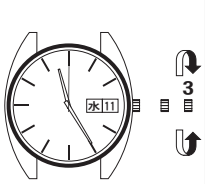
①リューズを2の位置まで引き出します。（秒針は動いています）この位置では日付が動きます。



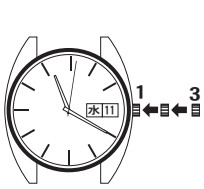
②リューズを回して正確な日の、前日の日付と曜日を表示させます。その後リューズを3の位置まで引き出します。（秒針が止まります）秒針は12時の位置に止めます。



③リューズを回し日付が変わるまで針を進めます。午前の場合はそのままにします。なお、午後の場合は、時針が一度12時を超えるまで針を進めます。正しい時刻より4〜5分針を進めます。つぎに、針を戻して、正しい時刻にします。



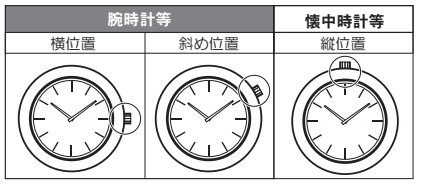
④時報と同時にリューズを押込み1の位置に戻します。



製品について

- ■ 秒針付き製品の場合、製造精度上秒針が文字盤の目盛りと合わない場所がありますが、時計の性能への影響はありません。
- ■ リューズの位置は、腕時計や懐中時計等、モデルにより異なりますが操作方法は同一です。各針や日付など表示の種類が当てはまる項目を参照して、そのモデルのリューズを使って各操作を行なってください。

リューズ位置例 ※例以外に位置する場合もあります

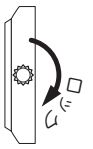


- ■ ねじ込み式リューズの場合は、図の手順でリューズを回し**ロックを解除してから**操作してください。また、時間を合わせた後は、**確実に**リューズをロックしてからお使いください。

①リューズが飛び出るまで、リューズを反時計回りに回して、ロックを解除します。



②時刻合わせが終了したら、時計回りにリューズを押し付けながら回して、ロックします。



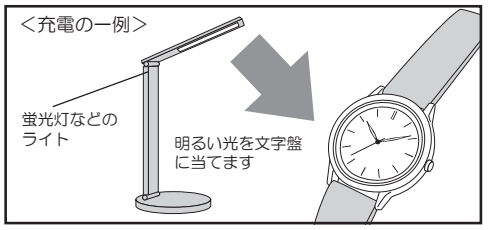
本製品の特長

ソーラーウオッチとは

文字盤に設置されたソーラーパネルが、光を電気に変え、内蔵のリチウムボタン二次電池に充電し駆動します。一度フル充電にすると、約4ヶ月充電なしでも動きます。（モデルにより異なります）

充電・保管について

■ご使用前には、明るい光の当たる場所で充電してください。充電池の容量が低下している可能性があります。
使用しない時は、暗い場所や引き出し等にしまったりせずに、文字盤がライトなどの明るい光の当たる場所へ置いてください。
※直接、太陽光には当てないでください。時計自体が高温になると故障の原因となります。



※光が当たらない場所に置き続けると、充電池の電力不足となってしまい、正常な駆動をしなくなります。特に冬場は時計が袖口に隠れ、充電不足になりがちです。時々、文字盤に明るい光を当てて、充電してください。

※しばらく充電をしてからご使用ください。
※動作していない場合は、充電時間が足りない場合がございます。1日程度、充電を行なってください。
※数日充電を行なっても駆動しない場合、完全放電による充電池の寿命の場合がございます。その場合、充電池自体の交換（※有償修理）を、お勧めいたします。詳しくはアフターサービスセンターまで、ご連絡をお願いします。

⚠ 注意 ○本体が50度以上の高温になる場所での充電・保管は故障の原因となりますのでご注意ください。
〈例〉ハロゲンランプ、白熱灯など、高温になる光源に近づけての充電、車のダッシュボード上や、強い直射日光が当たる場所など。

充電時間の目安

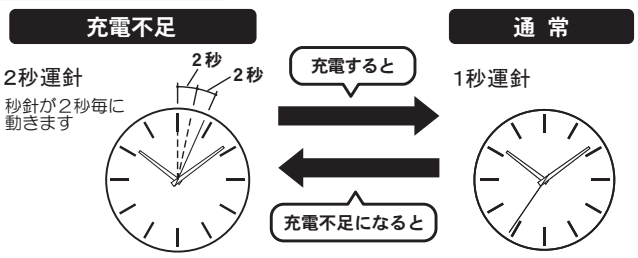
時計の機種・文字盤の色等によっては充電時間が異なりますのでこの表は目安としてご利用ください。
※高温にならない事をご確認の上、充電してください。室内窓越しに差し込む日光などでの充電をお勧めします。

充電を行う環境の一例	照度の目安（Lux:ルクス）	必要充電時間		
		停止から始動するまでの充電時間	1日駆動分の充電時間	フル充電時間
照明器具の下に置いた時	700	約35時間	約100時間	フル充電は出来ません
30Wの照明器具の約30cm下に置いた時	3,000	約4時間	約25時間	約60時間
曇天の太陽光	10,000	約1.5時間	約8時間	約20時間
晴天の太陽光 ※直射日光に注意	100,000	約15分	約2時間	約5時間

■1日駆動分の充電時間とは？ → 時計が停止している状態から、1秒運針で1日動かす為に必要な充電時間です。
■フル充電時間とは？ → 時計が停止している状態から、最大に充電されるまでの時間です。

充電不足予告機能

充電不足になると、時計は以下のような状態に切り替わります。



【過充電防止機能】
充電池がフル充電されると過充電防止機能が働き、それ以上は充電されないようになっています。

安全上の注意

■ ご使用になられる方や他の方への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、下の表示で区分されている内容につきましては、一読してご確認の上必ずお守りください。

⚠ 警告 この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

リチウムボタン二次電池について

ソーラー発電機能付き製品は、二次電池を使用しています。以下の内容を必ずお守りください。

⚠ 警告
○お客様自身で電池交換をしないでください。
万一、ご自分で交換した際の作業により生じた事故・故障・防水不良等は保証の対象外となります。
○やむを得ずお客様が時計から電池を取出した場合は、電池を直ちに幼児の手の届かない場所に保管してください。
○万一飲込んだ場合は、体に害がある為、直ちに医師にご相談ください。
○破裂・発熱・発火などのおそれがありますので、絶対にショート・分解・加熱・火に入れるなどしないでください。

⚠ 注意
○ソーラー発電機能付きウォッチは充電可能な特殊なボタン電池型・二次電池を使用しております。
○充電・放電の状況により、電池自体の寿命が短くなってしまう場合もございます。
○充電時、時計本体が50℃以上の高温になるような 直射日光などの光を当て続けますと、様々な故障の原因となります。室内の窓越しで、日差しを当てた充電を行い、時々時計自体の温度が高温になっていないかを確認してください。
○−10℃以下や+50℃以上の温度下に放置すると、液漏れしたり寿命が短くなる事がありますので、ご注意ください。

防水性

⚠ 警告

■気圧の数値は、ケースの裏や文字盤に、下記のように表記されています。(記載がないものが、非防水の時計です。)

気圧を表す表記例　(例)・WATER RESISTANT
・WATER RESIST
・WR ・BAR

■防水性能にはバンドは含まれません。

○非防水・日常生活用防水(３・５気圧)の時計は、水の中に入れてしまう様な環境での使用はできません。
○日常生活用強化防水(１０～２０気圧)の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。
○防水構造の時計でもシャワーや入浴等の温水では使用しないでください。

⚠ 注意

○リューズは常に完全に押込んだ状態(通常位置)でご使用ください。
○水中あるいは水分がついたままでリューズ及びボタン操作をしないでください。内部に水分が入り、防水不良・故障の原因となります。
○非防水時計については一時的にかかる水滴(洗顔時の水はね雨など)や汗にもご注意ください。万一、水や汗で濡れた場合は乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
○防水構造の時計でも、勢いのある水道の水を直接あてる等の事は避けてください。防水性能以上の水圧がかかり、防水不良や故障の原因となる場合があります。
○日常生活用強化防水時計(１０～２０気圧防水)の場合、海水に浸かった後は、ケースについた海水を真水で良く洗い落とし、洗った後はサビ等が出ないようによく拭き取り乾燥させてください。
○時計内部には多少の湿気があり、外気が時計内部の湿気より低い時などにガラス面がくもる事があります。くもりが一時的な場合は支障ありませんが、くもりが長時間消えなかったり、時計内部に水分が入っている場合は、そのまま放置せずにお買上げ店にご相談ください。

磁気・衝撃・温度など

磁気

磁石など、磁力のある物に近付けないでください。
・磁石付き健康機具、冷蔵庫のマグネットドア電気溶接器、携帯電話のスピーカー部分など強い磁界を発生する器具には、近付けないでください。
・磁気の影響を受けると磁気を帯び進み遅れが生じます。磁気を帯びた場合は［磁気抜き］が必要になります。詳しくはクレファーアフターサービスへお問合せください。

携帯電話と一緒に保管をしないでください。

携帯電話はスピーカー等に強い磁気があります。磁気に影響を受けたり、時計自体が磁化されると、止まってしまう・遅れる・動いたり、止まったりするといった症状が出ます。一緒にバッグに入れたりなさらないよう、ご注意ください。
※工場など大型モーターの近くでのご使用は避けてください。

衝撃

軽スポーツによる影響はありません。
・床に落とす、ぶつける等の激しいショックを与えないでください。ガラスが割れたり、故障の原因になります。

振動

乗り物等の軽い振動による影響はありません
・オートバイなどで強い振動が加えられた場合に、一時的に遅れる事があります。

温度

４０℃をこえる場所での精度は保証できません。
・直射日光が長時間あたったり、高温になる所に置かないでください。

１０℃に満たない場所での精度は保証できません。
・寒い所に長時間置かないでください。

※温度の影響で多少の進み遅れが生じる事がありますが、常温に戻れば元の精度に戻ります。

薬品について

⚠ 注意

水銀・化学薬品（シンナー・ガソリン・各種溶剤・またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）・ガスなどが触れると、ケース・バンド・文字盤の変色、樹脂部品では変色・変形破損する場合がありますので、十分ご注意ください。

夜光（蓄光）塗料について

時計の夜光には蓄光性塗料を使用しております。この塗料は性質上時間の経過とともに輝度が弱まります。

こんな時は

■時計が止まった

充電不足による停止の場合、文字盤に明るい光を当て、充電してください。
詳しくは 本製品の特長 の 充電・保管について をご覧ください。

■秒針の動きがおかしい

充電不足による、２秒運針の状態と思われます。故障ではありません。文字盤に明るい光を当て、充電してください。
詳しくは 本製品の特長 の 充電不足予告機能 をご覧ください。

その他

⚠ 警告

■バンドの脱着の際に留め具の構造によっては、手指をキズつけるおそれがありますのでご注意ください。
■時計装着時の転倒などや他人との接触、特に乳幼児を抱いたりする時には、時計に触れる事で思わぬケガを負ったりアレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので十分にご注意ください。

⚠ 注意

■ご使用状況により、メッキパーツ、プリント塗装部分は摩擦により磨耗・経年劣化をいたします。ご了承ください。

かぶれやアレルギー

○バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
○かぶれやすい体質の方は、体調により皮膚にかゆみやかぶれをきたす事があります。
○かぶれの原因としては、金属・皮革に対するアレルギー、時計本体やバンドに発生した、サビ・汚れ・付着した汗などが考えられますのでご注意ください。
○万一肌などに異常が生じた場合は直ちに使用を中止して、医師にご相談ください。

ケースやバンドのお手入れ

○ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと、衣服を汚したり、肌の弱い方はかぶれたりする事があります。汚れや水分はそのままにせず、柔らかい吸湿性の良い布でふき取り、常に清潔にしてお使いください。また、汗をかきやすい季節等には、バンドを少しゆるめにして通気性を上げるなどして、お使いください。

色落ちや色移り

○皮革・軟質プラスチックのカラーバンドは、変色・色落ち・色移りする場合がありますのでご注意ください。
○カラーバンドを水に濡れたまま、または湿った状態で使用すると色落ち・色移りの原因となり、衣服を汚すおそれがありますのでご注意ください。

金属バンド

○時々、やわらかい歯ブラシ等を使い、石鹸水で部分洗いなどをしてください。汚れたままにしておくと、サビにより腐食したりする事があります。
○水分はやわらかい吸湿性の良い布でふき取り、よく乾かしてください。非防水時計は、時計本体に水がかからないよう慎重に扱ってください。

革バンド

○水分・汗・汚れなどは大敵です。時計をはずした後は、柔らかい吸湿性の良い布でふき取り風通しの良い場所に置いて良く乾かしてください。
○水洗いはできません。

軟質プラスチックバンド

○ご使用状況・環境により異なりますが、ベルトの耐用期間は約１年です。
○化学製品なので、溶剤等によって変質する事があります。
○ウレタンバンド等、軟質プラスチック製のバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどくなると衣服を汚したり皮膚に障害を起こす場合もありますので、時々石鹸水で洗ってください。非防水時計は時計本体に水がかからないよう慎重に扱ってください。

メッキパーツ

金属バンドやその他金属・プラスチック部分には、メッキを施した製品があります。使用後に手入れをせずに使い続けると、メッキの腐食やハガレの原因となり、衣服を汚したり皮膚がかぶれたりする可能性もあります。特に夏場などの汗をかきやすい季節には、こまめなお手入れを心掛けてください。

耐水処理バンド

製品により、汗や水に触れても吸収しにくい処理を施したナイロンや皮革バンドを使用している物があります。このバンドの耐水性は使用期間や条件により差がありますが、徐々に効果が衰えますのでご了承ください。

銀製品

ケースやバンドが銀または銀メッキ製品の場合、酸化物や硫化物など(空気中や人体の老廃物など身の回りに多く存在します)と反応して表面が変色する事があります。その様な場合は、市販の銀製品用クロスなどを使ってお手入れしてください。

金製品

ケースやバンドが金製の製品の場合、以下にご注意ください。金は柔らかい材質です。ぶつけたり、落としたりすると、変形や破損しやすいので、取り扱いにはご注意ください。

フック付きウオッチについて

○フック部分はアクセサリー用の為、本格的な登山・スポーツや、牽引には使用できません。
○パーツ部分に指や衣服などを挟まないようにご注意ください。

アフターサービスについて

○保証期間中のアフターサービスについては、保証規定をご確認の上お買上げ店にご相談ください。保証期間経過後の修理については、お買上げ店またはお近くの取扱店にご相談ください。保証期間中は原則的に修理が可能ですが、保有パーツの在庫が無くなった場合など、修理をお断りさせて頂くこともございますのでご了承願います。
○修理の時、部品・その他すべての付属品は、一部代替部品を使用させていただく事もありますのでご了承ください。
○実際に修理が可能かどうかはご使用の状態により異なり、時計精度などは元通りにならない場合もあります。
○保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他にお買い上げ店と修理工場との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にてご負担願います。修理内容によっては修理代が標準小売価格を上回る事もございますので、修理依頼の際には取扱店様とよくご相談の上ご依頼ください。

製造元　株式会社クレファー

株式会社クレファーアフターサービス

〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1
TEL:042-703-1785　FAX:042-700-1106
(土日休日を除く平日10:00~12:00／13:00~17:00)

「らくらくバンド」製品のバンド交換について

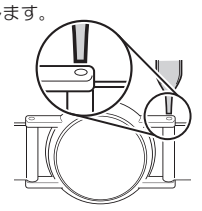
らくらくバンド　**らくらくバンドの製品は、バンド裏面のスライドレバーを操作すると簡単・スピーディーにバンド交換ができる便利な機能がついています。**

⚠ 注意
■作業時にバネ棒が飛び出すと危険です。**目に入らないよう、充分ご注意ください。**
■作業時にバネ棒が**紛失しないよう、充分ご注意ください。**

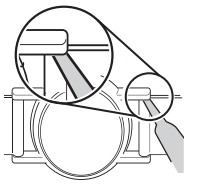
バンド交換方法　※はじめに、取り付けられているバンドを交換してください。

■取り外し

①時計のサイドに穴がある場合は穴に工具を差し込みバネ棒を押して、バンドを引き出して外します。



②時計のサイドに穴がない場合は時計とバンドの間に工具を差し込み、バネ棒を押してバンドを引き出して外します。



■取り付け

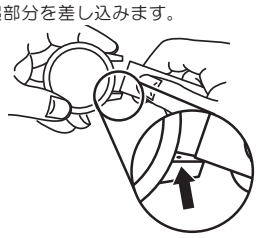
バンドにバネ棒を差し込んで、バンドの片側を時計の穴に差し込みます。つぎに、バネ棒のもう片側に工具を引っ掛けて縮ませながら時計の穴に差し込みます。



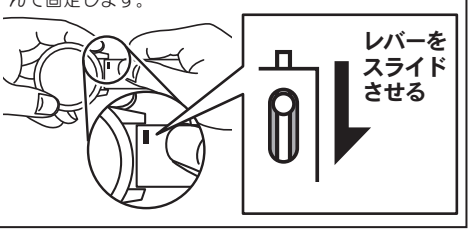
らくらくバンド製品の取り付け

■取り付け

①時計のバンド取り付け部分の内側の穴にレバーの突起部分を差し込みます。



②バンド裏面のレバーをスライドさせてバネ棒を差し込んで固定します。



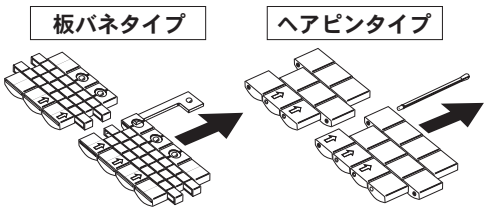
バンド調整について　バンドの調節については、以下の説明をよくお読みください。

■作業中に負ったケガや障害、商品の故障等については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますのでご了承ください。
■無理な力をかけたり、誤った作業をすると部品を傷めるので作業は慎重に行なってください。
■図はイメージです。時計によって異なる場合があります。

板バネタイプとヘアピンタイプは、ご自身でバンド調整は行わず、お買い上げ店・お近くの取扱店・または弊社アフターサービスにご依頼ください。

⚠ 警告
思わぬケガを負う場合がありますので、ご自身でバンドの調整は行わないでください。

⚠ 注意
バンドには小さい部品などを使用しており紛失の恐れがありますので、ご自身でバンドの調整は行わないでください。



弊社アフターサービスにご依頼の場合

バンド調整代金は有償で承ります。なお、往復運賃・諸掛り費用につきましては、お客様にてご負担願います。また、送料が一般時計店様のベルト調整依頼価格を上回る事もございますので、ご依頼の際には弊社アフターサービスとよくご相談ください。

ご依頼時のお願い　バンド調整をご依頼の際は、以下の**【バンド調整の長さの目安】**を参考にして、あらかじめ**コマ詰めの個数を明記の上**、ご依頼ください。

【バンド調整の長さの目安】時計を装着した状態で、指が１本入る程度が適当な長さです。多少余裕を持たせて、通気性を良くした長さにしてください。

フリー調整タイプ

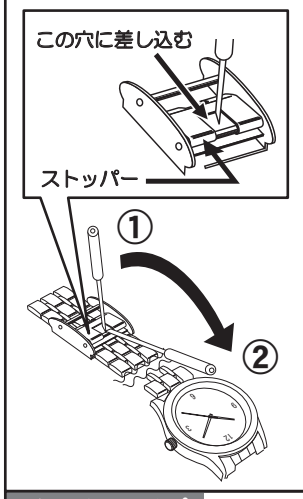
このタイプは、無理な力をかけたり誤った作業をして部品を傷めないように慎重に作業してください。

⚠ 注意
■留め金をずらした後に、余った部分を取り外す事はできません。誤った調整を行うと部品を破損してご使用できなくなります。
■留め金が破損するので、時計の文字盤側以外からストッパーを、こじ開けないでください。

①ロックを外します。

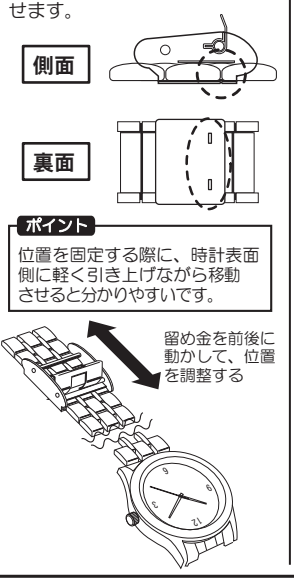
マイナスドライバー等で、時計の文字盤側から図の位置に差し込み、ストッパーを上に起こしロックを外します。

※ロックが外れた図は②を参照



②位置を決めます。

ストッパーの底の出っ張りをバンドのコマとコマの隙間に合わせます。

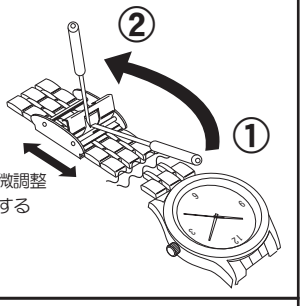


ポイント
位置を固定する際に、時計表面側に軽く引き上げながら移動させると分かりやすいです。

③ストッパーを固定します。

マイナス精密ドライバー等を指定の穴に差し込み、ベルト末端に向けて倒すように固定します。
素手でストッパーを押し込み固定することは、非常に固く難しいので、図の様な精密ドライバーを使ってください。

ストッパーは固定出来る位置と出来ない位置があります。工具を使っても固く倒しこめない時は無理に押し込まないでください。ストッパーの位置を少し前後に動かし再度試してください。

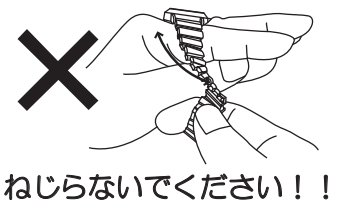


ジャバラタイプ（伸縮タイプ）

このタイプは、フリーサイズの為、サイズ調節は出来ません。

⚠ 注意
ジャバラバンドは構造上、無理にねじると部品が外れる場合がございます。脱着時には、バンドがねじれないように、十分ご注意くださ

※怪我の防止の為、バンドがきつい状態・隙間が無い状態でのご使用はお勧めしません。



ねじらないでください！！
図のような取り扱いは絶対しないでください。